

浜の活力再生広域プラン（海面養殖業）

1 広域水産業再生委員会

| | |
|------|---------------|
| 組織名 | 広島県広域水産業再生委員会 |
| 代表者名 | 山本 勇二 |

| | |
|---------------|---|
| 広域委員会の 構成員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島かき漁業地域水産業再生委員会 ・ 福山市田尻地区水産業再生委員会 ・ 広島地域水産振興協議会 ・ 呉芸南水産振興協議会 ・ 尾三地区水産振興協議会 ・ 福山地区水産振興対策協議会 ・ 広島県信用漁業協同組合連合会，広島県漁船保険組合，広島県漁業 共済組合，全国共済水産業協同組合連合会広島県事務所，（一社） 広島県栽培漁業協会，（公財）広島県漁業振興基金，（公財）広島市 農林水産振興センター ・ 瀬戸内地魚ブランド推進協議会 ・ 広島市，呉市，竹原市，三原市，尾道市，福山市，大竹市，東広島 市，廿日市市，江田島市，坂町，大崎上島町 ・ 広島県 ・ 広島県漁業協同組合連合会 <p>※瀬戸内地魚ブランド推進協議会構成員： 広島県漁業協同組合連合会，広島地域水産振興協議会，呉芸南水産振興協議 会，尾三地区水産振興協議会，福山地区水産振興対策協議会，産地仲買業者 5 業者（有限会社岩船水産，有限会社魚千，カネト水産株式会社，株式会社桑田 泰商店，ビリ軒），卸売業者 6 業者（広島魚市場株式会社，広島水産株式会 社，呉中央水産株式会社，株式会社クラハン，株式会社福山中央水産，株式会 社ケンスイ）</p> |
| オブザーバー | |

| | |
|---------------------------|--|
| 対象となる地 域の範囲及び 漁業の種類 | <p>広島県沿岸地域（福山市，尾道市，三原市，竹原市，東広島市，大崎 上島町，呉市，江田島市，坂町，海田町，広島市，廿日市市，大竹市 の周辺地域）</p> <p>福山市：魚類養殖 7 名，のり類養殖 16 名 ～計 23 名 尾道市：魚類養殖 1 名 ～計 1 名 竹原市：かき類養殖 3 名 ～計 3 名 東広島市：かき類養殖 20 名 ～計 20 名 大崎上島町：魚類養殖 3 名 ～計 3 名 呉市：かき類養殖 66 名，魚類養殖 4 名，のり類養殖 2 名 ～計 72 名 江田島市：魚類養殖 1 名，かき類養殖 69 名， ～計 70 名 坂町：かき類養殖 12 名 ～計 12 名 海田町：かき類養殖 2 名 ～計 2 名 広島市：かき類養殖 59 名，のり類養殖 3 名 ～計 62 名 廿日市市：かき類養殖 62 名 ～計 62 名 大竹市：魚類養殖 6 名，かき類養殖 19 名 ～計 25 名</p> |
|---------------------------|--|

2 地域の現状

(1) 地域の水産業を取り巻く現状等

ア かき養殖

(ア) 品質管理の徹底が不十分である

- 家庭での消費量の減少に伴い、量販店などでの生鮮かきの取扱量が減少傾向にある中、関東圏を中心に近年消費が伸びている品質管理されたかきを扱うオイスターバーや高級外食産業への対応が遅れている。
- これまで、本県の生産者は大量生産への強い意識のもと、品質管理意識が十分に醸成されていなかった。

(イ) 品質にばらつきがある

- 広島かきは、他産地と比べて養殖海域が広いことから、品質のばらつきが大きいといった特徴がある。
近年は、身入りの良い高品質なかきに対する需要が高くなっており、本県のみで生産されている3倍体かきは、高品質で夏場にも出荷できることを特徴としており、需要は伸びている。そこで、この3倍体に代表される高品質なかきの安定生産と夏場の出荷を伸ばしていくことが急がれる。

(ウ) 生産の効率化

- かき養殖の基本となる優良な種苗を安定的に確保することが必要である。
- 高品質かきの生産拡大に向け、効率的な生産が行われるよう養殖システムを見直し、品質管理設備の整った共同加工施設の整備など、生産体制の近代化が必要である。

イ 魚類養殖

- 本県の魚類養殖は、他県と比較すると小規模・零細であるため、価格交渉力が弱く、大消費地を近接に位置している強みを十分生かせていない。

ウ ノリ養殖

- 近年では、ノリの色落ちがみられることから、その一要因として栄養塩濃度の低下が懸念されており、湾・灘ごとの状況に応じたきめ細やかな水質管理を推進していく必要がある。
- 生産加工施設が老朽化しており、高品質なノリ加工生産が困難になっている。このため高付加価値化によるブランド形成力が不十分である。
- 低コスト化や作業効率の向上により、産地競争力を強化する必要がある。

(2) その他の関連する現状等

広島県の人口は、出生数の減少や転出超過が続いていることを背景に、平成10（1998）年の288万人をピークに減少が続き、平成26（2014）年現在で約283万人となっている。今後10年の内には、年齢別人口で高い割合を占める団塊ジュニア世代が、人口再生産年齢を過ぎることで、出生数の減少は更に進み、これまで以上の速度で人口が減少していくことが懸念される。加えて、県内の一部の市町では、増加を続けていた高齢者人口までもが減少し始めており、本県の人口減少は加速的に進行する「新たな段階」を迎えている。

一方、円安の定着や東南アジア諸国の観光ビザ緩和などを追い風に、外国人観光客数は近年大幅に増加しており、国の観光立国推進閣僚会議では、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32（2020）年に向けて訪日外国人旅行者数4千万人（観光客増加により当初の2千万人から4千万に目標増）を目指すとしているが、広島県の観光を取り巻く状況は本県の強みである2つの世界文化遺産や瀬戸内海を一層積極的に活用することが求められ、そのなかで水産関係の取組としては、地域の食や漁業体験等の参加・体験・感動型観光の推進などに力を入れているところである。このほか、広島県では、チャレンジ精神やフロンティア精神にあふれる県民性を生かし、平成22（2010）年のチャレンジビジョン策定時から、イノベーションをチャレンジビジョン推進の重要な視点として掲げてきた。また、転勤や創業の地として移り住む人が多い土地柄を踏まえ、家族一緒に暮らしやすいと感じてもらえるよう、様々な場面でファミリー・フレンドリーな広島県となるべく取り組んでいる。さらに、充実した都市機能と山も海もある豊かな自然が近接し、県内どこに住んでいても短時間の移動でその両方を楽しむことができる、広島ならではの都市と自然の近接ライフを、他の地域と差別化できる大きな魅力と考えている。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

ア かき養殖

(ア) かき養殖の販売・流通

- 品質管理の良いかきと品質の高いかきの生産を増やし、国内シェアの維持・拡大を図る。
- 総合的な品質の向上により、オイスターバーや高級外食産業などの求める品質の高いかきに関東圏に安定供給することで、広島かきのイメージアップを図り、ブランド力の向上を目指す。
- 広島かきは日本一の生産量を誇り、生鮮から加工まで幅広いニーズに対応できるという特徴を活かし、最新の鮮度保持技術を利用した品質管理を行い、関東圏等、大消費地に出荷することで、シェア拡大を図る。

(イ) かき養殖の生産・加工体制の近代化

- 天然採苗^{*1}できることが、本県かき養殖業の強みであることから、広島湾北部海域に母貝筏^{*2}を設置するなど、安定的に天然種苗を確保する体制を構築する。
- 本県の生産環境は、生産加工施設の老朽化などに伴い、新興地域と比較すると効率的に生産されているとは言えないため、生産加工施設の近代化等生産環境の改善を図る必要がある。また、衛生管理や品質管理を強化することで、関東を中心とした国内消費を伸ばし、国内でのブランド力向上を図る必要がある。
- このような管理強化に対応した施設整備を推進するため、広島かき近代化モ

デルとして、効率的な生産が行われるよう養殖システムを見直し、生産と加工出荷部門を分離し共同利用による拠点化を図ることで、作業の効率化と均一化による高品質かきの低コスト安定供給を目指し、利益率の高い近代的な生産システムの構築を図る。

※1 天然採苗：自然界で親のかきが放出する幼生を、ほたてがいの貝殻に付着させる方法

※2 母貝筏：産卵のための親がきの筏

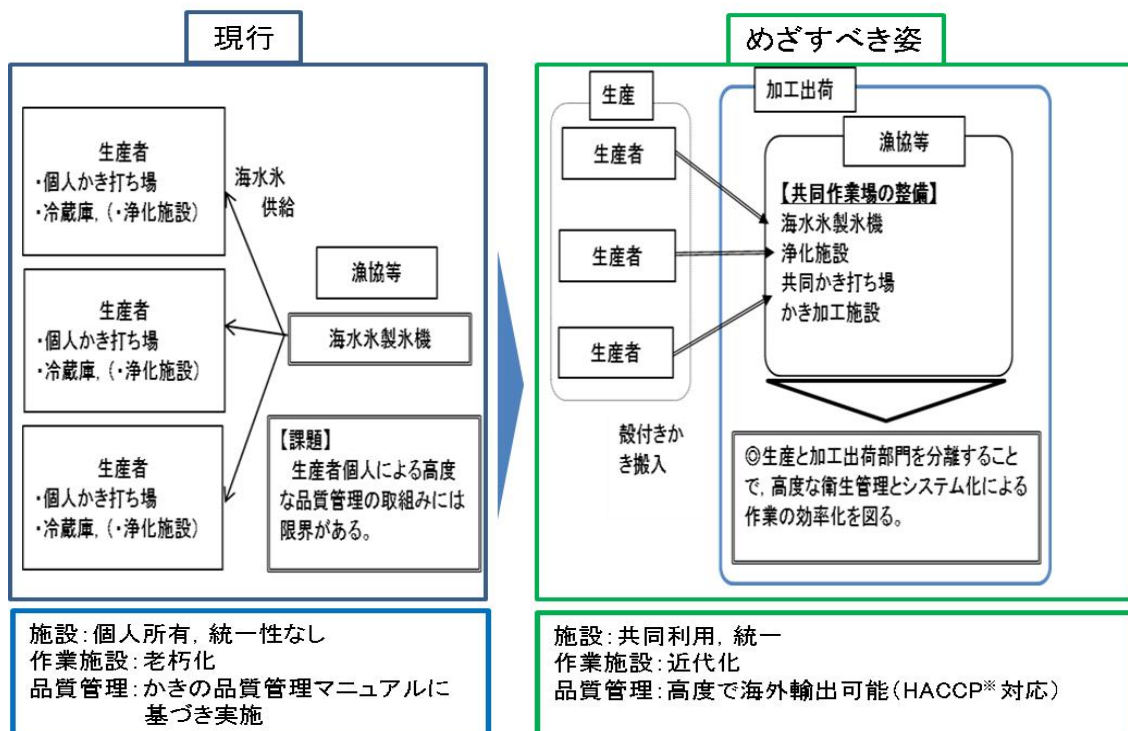
イ 魚類養殖

- 新たな魚類養殖の地域ブランドとして、本県が国内生産量全国一位で機能性餌料となるレモンを活用した「広島サーモン」や「あたたハマチとレモン」等、特色のある養殖に取り組んでいくことで、市場での価格形成力を高め、漁業所得の向上を目指す。

ウ ノリ養殖

- ノリの色落ちへの対応として、広島県東部海域では、季節ごとの状況に応じたきめ細やかな水質管理について、順応的な取組を推進していく。
- 本県の生産環境は、近年、生産加工施設の老朽化などに伴い、他地域と比較すると効率的に生産されているとは言えないため、生産加工施設の近代化等生産環境の改善を図る。
- 衛生管理や品質管理を強化することで、県内を中心とした消費を伸ばし、地域でのブランド力向上を図る。
- 本県ノリ養殖業の拠点となる箱崎漁港に、高速で給油可能な燃油供給施設を整備し、養殖作業の効率化、低コスト化を図ることで、産地競争力を強化する。

広島かき近代化モデル



※HACCP:《hazard analysis critical control point》危害分析重要管理点。NASA(ナサ)(米国航空宇宙局)が宇宙食の衛生管理のために考案した手法で、食品工業やレストランの衛生管理に応用されている。ハセップ。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

漁場改善計画を策定する等、漁場生産力に見合った計画生産体制の構築を図り、消費者ニーズに合った安全で高品質な生産物を安定的に供給できる養殖に取り組む必要がある。このために、品質管理のための施設整備など、生産体制の近代化に取り組み、作業の効率化と均一化により、低コストで安定的に養殖生産物を供給し、利益率の高い近代的な生産システムの構築を目指すことを基本方針とする。

なお、本プランにおいて、漁船のリース事業等を活用する「中核的漁業者」は、将来の生活設計ができる漁業所得 500 万円以上を得ている又は目指す漁業者を中核的漁業者として位置づけ、広島県広域水産業再生委員会において認定する。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

かき養殖業については、漁場生産力に見合った計画生産体制の構築が図られるよう、区画漁業権行使規則において、筏の台数、筏の大きさ等を定め、制限している。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成28年度）

| | |
|-------------|---|
| 地域活性化に向けた取組 | <p>1 全般</p> <ul style="list-style-type: none">○ 担い手対策・ 広域浜プランにおいて、品質管理のための施設整備など、生産体制の近代化に取り組み、作業の効率化と均一化により、低コストで安定的に養殖生産物を供給し、利益率の高い近代的な生産システムの構築を目指す漁業者を中核的漁業者として位置づけ、<u>漁船のリース事業を活用する。</u>（①）・ <u>生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入</u>（②）し、漁業競争力の強化を図る。 <p>2 かき養殖</p> <ul style="list-style-type: none">○ 近代的な生産システムの構築のため、<u>地域別に将来の方向性と併せてモデル地域を検討する。</u>（③）○ 閉鎖海域における工程管理技術開発として、<u>安全性が高く、身減りしない殻付きかきの生産管理技術の開発を支援する。</u>（④）また、殻付きかきの安全性向上を図る技術開発として、夏期を通じて衛生管理基準を満たす<u>生食用殻付きかきの浄化技術の開発を支援する。</u>（④）○ 三倍体かき種苗を効率的に生産するための技術開発として、<u>種苗生産技術改良試験を支援する。</u>（④）○ 高品質かきを安定的に供給できる生産体制を構築するとともに、生食用殻付きかきの需要増に対応するため、安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築により、生産者の所得向上を図る。 <p>3 魚類養殖</p> <ul style="list-style-type: none">○ 市場のニーズを踏まえ、新たなブランド商品として「広島サーモン」、「あたたハマチとレモン」などの販売拡大を図る。 <p>4 ノリ養殖</p> <ul style="list-style-type: none">○ ノリの色落ちへの対応として、広島県東部海域では、冬期に環境基準の範囲内でし尿処理施設等において硝化抑制運転を行う等、栄養塩の管理について、試験的な取組を推進する。○ <u>生産加工施設の新設など</u>（②）、衛生管理や品質管理を強化することで、消費の拡大及び地域でのブランド力向上を図る。○ 養殖作業の効率化、低コスト化を図るため、本県ノリ養殖業の拠点となる箱崎漁港に、高速で給油可能な<u>燃油供給施設を整備</u>（⑤）し、産地競争力を強化する。 <p>【1年目の成果目標】 かき生産金額：168億円</p> |
|-------------|---|

| | |
|-----------|---|
| 活用する支援措置等 | ①浜の担い手漁船リース緊急事業 ②競争力強化型機器等導入緊急対策事業 ③広域浜プラン実証調査事業 ④広島かき安定供給システム構築事業（県） ⑤水産業競争力強化緊急施設整備事業 |
|-----------|---|

2年目（平成29年度）

| | |
|-------------|--|
| 地域活性化に向けた取組 | <p>1 全般</p> <p>○ 担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域浜プランにおいて、「中核的漁業者」として位置付けられた漁業者に対する漁船のリース事業を活用する。(①) ・生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入(②)し、漁業競争力の強化を図る。 <p>2 かき養殖</p> <p>○ 近代的な生産システムの構築のため、モデル地域において、施設整備に向けた事業計画（案）を作成する。(③)</p> <p>○ 閉鎖海域における工程管理技術の開発として、安全性が高く、身減りしない殻付きかきの生産管理技術の開発を支援する。(④) また、殻付きかき安全性向上の技術開発として、夏期を通じて衛生管理基準を満たす、生食用殻付きかきの浄化技術の開発を支援する。(④)</p> <p>○ 三倍体かき種苗を効率的に生産するための技術開発として、種苗生産技術改良試験を支援する。(④)</p> <p>○ 高品質かきを安定的に供給できる生産体制を構築するとともに、生食用殻付きかきの需要増に対応するため、安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築により、生産者の所得向上を図る。</p> <p>3 魚類養殖</p> <p>○ 市場のニーズを踏まえ、新たなブランド商品として「広島サーモン」、「あたたハマチとレモン」などの販売拡大を図る。(P D C A)</p> <p>4 ノリ養殖</p> <p>○ ノリの色落ちへの対応として、広島県東部海域では、冬期に環境基準の範囲内でし尿処理施設等において硝化抑制運転を行う等、栄養塩の管理について、試験的な取組を推進する。</p> <p>○ 生産加工施設の新設など(②)、衛生管理や品質管理を強化することで、消費の拡大及び地域でのブランド力向上を図る。(P D C A)</p> <p>○ 養殖作業の効率化、低コスト化を図るため、本県ノリ養殖業の拠点となる箱崎漁港に、高速で給油可能な燃油供給施設を整備(⑤)し、産地競争力を強化する。</p> <p>【2年目の成果目標】かき生産金額：170億円</p> |
|-------------|--|

| | |
|-----------|---|
| 活用する支援措置等 | ①浜の担い手漁船リース緊急事業 ②競争力強化型機器等導入緊急対策事業 ③広域浜プラン実証調査事業 ④広島かき安定供給システム構築事業（県） ⑤水産業競争力強化緊急施設整備事業 |
|-----------|---|

3年目（平成30年度）

| | |
|-------------|--|
| 地域活性化に向けた取組 | <p>1 全般</p> <p>○ 担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域浜プランにおいて、「中核的漁業者」として位置付けられた漁業者に対する漁船のリース事業を活用する。(①) ・生産性の向上，省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入(②)し，瀬戸内海の漁業の競争力強化を図る。 <p>2 かき養殖</p> <p>○ 近代的な生産システムの構築のため，モデル地域において，施設整備に係る事業計画（案）に基づき実証（③）するとともに，予算協議を進める。</p> <p>○ 閉鎖海域における工程管理技術や殻付きかき安全性向上の技術が開発され，安定的に生食用殻付きかきが出荷できる体制が構築される。</p> <p>○ 市場評価の高い三倍体かきの安定供給体制が構築される。</p> <p>○ 高品質かきを安定的に供給できる生産体制を構築するとともに，生食用殻付きかきの需要増に対応するため，安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築により，生産者の所得向上を図る。</p> <p>3 魚類養殖</p> <p>○ 市場のニーズを踏まえ，新たなブランド商品として「広島サーモン」，「あたたハマチとレモン」などの販売拡大を図る。（P D C A）</p> <p>4 ノリ養殖</p> <p>○ ノリの色落ちへの対応として，広島県東部海域では，冬期に環境基準の範囲内でし尿処理施設等において硝化抑制運転を行う等，栄養塩の管理について，試験的な取組を実施推進する。</p> <p>○ 生産加工施設の新設など（②），衛生管理や品質管理を強化することで，消費の拡大及び地域でのブランド力向上を図る。（P D C A）</p> <p>【3年目の成果目標】かき生産金額：174億円</p> |
| 活用する支援措置等 | ①浜の担い手漁船リース緊急事業 ②競争力強化型機器等導入緊急対策事業 ③広域浜プラン実証調査事業 |

4年目（平成31年度）

| | |
|-------------|-----------------------------------|
| 地域活性化に向けた取組 | <p>1 全般</p> <p>○ 担い手対策</p> |
|-------------|-----------------------------------|

| | |
|-----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・広域浜プランにおいて、「中核的漁業者」として位置付けられた漁業者に対する<u>漁船のリース事業を活用する。</u>(①) ・<u>生産性の向上, 省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入</u>(②)し, 漁業競争力の強化を図る。 <p>2 かき養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 近代的な生産システムの構築のため, モデル地域において, <u>事業計画(案)の実現を図る。</u>(③) ○ 閉鎖海域における工程管理技術や殻付きかき安全性向上の技術が開発され, 安定的に生食用殻付きかきが出荷できる体制を構築する。 ○ 市場評価の高い三倍体かきの安定供給体制が構築される。 ○ 国内市場の縮小を想定し, 輸出に向けた体制の確立を検討する。 ○ 高品質かきを安定的に供給できる生産体制を構築するとともに, 生食用殻付きかきの需要増に対応するため, 安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築により, 生産者の所得向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・生食用殻付きかきの出荷拡大 <p>3 魚類養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市場のニーズを踏まえ, 新たなブランド商品として「広島サーモン」, 「あたたハマチとレモン」などの販売拡大を図る。(P D C A) <p>4 ノリ養殖</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ノリの色落ちへの対応として, 広島県東部海域では, 冬期に環境基準の範囲内でし尿処理施設等において硝化抑制運転を行う等, 栄養塩の管理について, 試験的な取組を推進する。 ○ <u>生産加工施設の新設など</u> (②), 衛生管理や品質管理を強化することで, 消費の拡大及び地域でのブランド力向上を図る。(P D C A) <p>【4年目の成果目標】 かき生産金額: 174 億円とする。</p> |
| 活用する支援措置等 | <ul style="list-style-type: none"> ①浜の担い手漁船リース緊急事業 ②競争力強化型機器等導入緊急対策事業 ③水産業競争力強化緊急事業 |

5年目(平成32年度)

| | |
|-------------|---|
| 地域活性化に向けた取組 | <p>1 全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担い手対策 ・広域浜プランにおいて、「中核的漁業者」として位置付けられた漁業者に対する<u>漁船のリース事業を活用する。</u>(①) |
|-------------|---|

| | |
|-----------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入</u> (②) し、漁業競争力の強化を図る。 2 かき養殖 ○ 近代的な生産システムの構築のため、モデル地域において、<u>事業計画(案)の実現を図る</u>。(③) ○ 閉鎖海域における工程管理技術や殻付きかき安全性向上の技術が開発され、安定的に生食用殻付きかきが出荷できる体制を構築する。 ○ 市場評価の高い三倍体かきの安定供給体制が構築される。 ○ 国内市場の縮小を想定し、輸出に向けた体制の確立を検討する。 ○ 高品質かきを安定的に供給できる生産体制を構築するとともに、生食用殻付きかきの需要増に対応するため、安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築により、生産者の所得向上を図る。 ・ 生食用殻付きかきの出荷拡大 3 魚類養殖 ○ 市場のニーズを踏まえ、新たなブランド商品として「広島サーモン」、「あたたハマチとレモン」などの販売拡大を図る。(P D C A) 4 ノリ養殖 ○ ノリの色落ちへの対応として、広島県東部海域では、冬期に環境基準の範囲内でし尿処理施設等において硝化抑制運転を行う等、栄養塩の管理について、試験的な取組を推進する。 ○ <u>生産加工施設の新設など</u> (②)、衛生管理や品質管理を強化することで、消費の拡大及び地域でのブランド力向上を図る。(P D C A) <p>【5年目の成果目標】 かき生産金額：174 億円</p> |
| 活用する支援措置等 | <ul style="list-style-type: none"> ①浜の担い手漁船リース緊急事業 ②競争力強化型機器等導入緊急対策事業 ③水産業競争力強化緊急事業 |

(5) 関係機関との連携

夏期を通じて衛生管理基準を満たす生食用殻付きかきの浄化技術の開発を研究機関と連携して取り組む。国立研究開発法人水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所へ研究委託し、閉鎖海域における工程管理技術の開発として、安全性が高く、身減りしない殻付きかきの生産管理技術の開発を目指す。

(6) 他産業との連携

国内外からの観光客が瀬戸内の地魚（かきを含む）を食べることを目的に来訪する産地消費を拡大する取組を展開するため、観光業及び飲食業と連携し瀬戸内地魚の戦略的なブランディングに取り組む。具体的には、食材の供給、時期等と料理人のニーズのマッチング、首都圏飲食店等へのアプローチ、県内メディアや食育と連携した生産者や料理人のPRを実施する。

また、県と包括連携協定を結んでいる量販店、食品加工、コンビニエンス等の企業

とタイアップし水産物の販売を促進する。
 さらに、漁業者と県民、企業、大学、NPO 等との交流やネットワーク化により、水産業・農山漁村の機能・価値等に対する理解を深め、多様な主体が広島県の水産業・農山漁村を応援する取組を支援する。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

海面養殖の生産額の主であるかきは生産量が年間2万トンと限られる中、高品質かきの生産に向けた衛生管理の強化や、トップかきのブランド化など、かき養殖経営体の所得向上に向けた施策効果を表していることから「かきの生産額」を指標とした。

(2) 成果目標

| | | |
|--------|-----|-----------------|
| かき生産金額 | 基準年 | 平成 27 年度：166 億円 |
| | 目標年 | 平成 32 年度：174 億円 |

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

かき生産額：かき生産額（広島県水産課調べ）。
 生産量（年間約2万トン）が限られる中、広島かきに占める高品質かきの生産割合を高め、商品の差別化を進めることで、高付加価値化による単価向上効果での生産額の増加（8億円）を最終目標として設定。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

| 事業名 | 事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性 |
|-------------------|--|
| 浜の担い手漁船リース緊急事業 | 中核的担い手へのリース方式による漁船導入を図る。 |
| 競争力強化型機械等導入緊急対策事業 | 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入により、所得の増加に資する。 |
| 広域浜プラン実証調査事業 | 安全性の高い養殖技術等の確立及び生産体制の構築を図るための実証調査を実施。 |
| 広島かき安定供給システム構築事業 | 殻付きかき安全性向上の技術開発を実施。 |
| 水産業競争力強化緊急施設整備事業 | ○ かき加工施設の共同利用による拠点化を図ることで、作業の効率化と均一化により、高品質かきの低コスト安定供給体制を整備し、利益率の高い近代的な生産システムの構築を図る。 ○ 地域の拠点となる漁港において漁業用燃油給油施設を整備し、漁業の効率化を進め、漁業競争力の強化を図る。 |

※ 関連事業には、活用を予定している国（水産庁以外を含む）、地方公共団体等の補助金・

基金等を記載。ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※ 具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性」のみ記載する。